(第三種)(郵便物認可)(無料)(可)(昭和十三年六月十日第三種郵便物認可)(昭和十一年五月廿五日第三種郵便物認可)

臺灣日日新報

第一カ三千七百六十一號

臺灣新民報 夕刊

五月三十一日

定價一部二錢

臺灣新民報社
臺北市榮町四丁目番地
佐々木 寮
發行所 臺灣日日新報社
基隆市港町一丁目一番地 基隆支局
臺中市寶町一丁目一番地 臺中支局
臺南市末廣町一丁目一番地 臺南支局
花蓮港街入船町 花蓮港支局
大阪市西區阿波座一丁目 大阪支局
(ユニタカビルディング内)
東京市麹町區番町一丁目 東京支局
(玉川館内)

懸案の關稅引下げを 維新政府愈よ斷行す

明日から 排外關稅是正

【上海三十一日發同盟】中國國民政府は去る五月一日上海市政府内に於て新關稅法を制定し愈々六月一日を期して施行することになつたが、排外性に關稅を自國とせず、中國の現狀に鑑み、維新政府は排外的ブロックの見地から見て、レシプロカルな關稅を以て、國民生活の向上の必要に鑑つて、正當な關稅を課することは到底その國の自己犠牲に合はざるため、國際協調の精神に則り、從來用ひられた稅率たる千九百二十一年の關稅を若干しかしこれに關稅北支において緩和する態度を考慮して若干の修正を加へたものである。而して今回の關稅改正は、維新政府が日本帝國に對し、と共に經濟關係を更へた

ことは關稅改正の意義を一國或は數ケ國に限定せざりしことと相俟つて第三國方面においても多大の衝撃を與へてゐる。尚今回の關稅改正の將來に及ぼす影響を見るに國内に長江上流のインランドが開放され維新政府管下においても戰亂によつて民衆の購買力に壓迫を低下を來してゐるとは云へ、必需品の輸入が促進されることは想像に難くない。一方政府の見地より見るときには維新政府にとつて當面相當の關稅收入を見ることは必然でかかる緩和を敢んでまでも近年世界諸國に於て稀有の金銀的關稅引上げの挙を敢行したことに對しては多大の關心が拂はれてゐる。今回の關稅改正は維新政府財政局設置初の大仕事である

の協議に附議、正式決定し直ちに總督府御諮詢の手續を執り決定であつたとこの內閣改造の結果新大臣の入閣を見たので三十日閣議法制局長官吉田茂氏、外相、池田藏相並に荒木文相を夫々訪問して右改正案內定に至るまでの經過を詳細報告説明したが二大臣の意見を求めるため三十一日の閣議上程はこれを取止め臨時閣議の運びとなつた

臨時閣議

【東京三十一日發同盟】三十一日の定例閣議は午前十一時二十分より首相官邸に開會、廣田總理の大谷文相を除く宇垣外相、寺内陸相、米内海相出席、松山國相より三日夜九州方面における飛行機墜落につき報告あつた後河本大作憲兵隊長より支那の關稅改正について說明、同十一時五分迄の約一時間で閉會

定例閣議

【東京三十一日發同盟】二十一日の定例閣議は午前十一時二十分より首相官邸に開會、廣田總理の大臣を除く宇垣外相、寺内陸相、米内海相、池田藏相、荒木文相、末次內相、吉田法制局長官出席、內閣改造の結果新大臣の入閣を見たので三十日閣議に荒木文相を夫々訪問して右改正案內定に至るまでの經過を詳細報告説明したが二大臣の意見を求めるため三十一日の閣議上程はこれを取止め臨時閣議の運びとなつた

臺縣を完全占領

頑敵と對陣廿四時間

【臺灣發六月一日發同盟】二十九日臺灣軍門の一角を占領した臺灣軍は敵殲滅と相呼應して南進し、十六日一部の城壁に據つて頑強に抗戰する敵を撃破し、三十日午後一時二十分臺灣軍は一挙に城內に突入し臺縣を完全に占領した。目下田邊部隊は南方に敗走する敵を追撃中である

我軍更に西進

【福州三十日發同盟】臺灣軍部隊は三十日福州附近を完全に占領し次いで一方面を進撃し同日夜福州北方約五キロの地点に到達し、これに呼應する北部隊の○○部隊と共に福州の○○部隊に對する攻略を三十日午後

鹿邑を猛攻中

【臺灣二十一日發同盟】臺灣より敗走せる敵を追撃中の西田部隊は二十一日午前十時頃に臺縣西方六浬の鹿邑に達し、これを猛攻撃中である

荒鷲正確な爆撃

廣東其の他を攻撃

【廣東三十一日發同盟】廣東攻撃隊は目下廣東一帯に於ける敵の根據地に對し多大の損害を與へたり

(一)廣東市內外の要塞及び攻撃隊は敵の主要なる攻撃目標を目指して猛烈なる爆撃を加へたり

(二)廣東市東北地區における海岸及び陸上の敵を撃破したり

三、花州附近及その北方地區に於ける敵の主要なる陣地を撃破したり

四、廣東市內外の要塞及び攻撃隊は敵の主要なる攻撃目標を目指して猛烈なる爆撃を加へたり

(一)市街西、東郊、南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(四)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(五)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(六)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(七)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(八)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(九)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(十)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(十一)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(十二)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(十三)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(十四)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(十五)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(十六)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(十七)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(十八)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(十九)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二十)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二十一)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二十二)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二十三)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二十四)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二十五)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二十六)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二十七)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二十八)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二十九)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三十)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三十一)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三十二)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三十三)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三十四)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三十五)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三十六)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三十七)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三十八)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三十九)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(四十)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(四十一)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(四十二)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(四十三)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(四十四)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(四十五)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(四十六)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(四十七)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(四十八)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(四十九)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(五十)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(五十一)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(五十二)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(五十三)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(五十四)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(五十五)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(五十六)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(五十七)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(五十八)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(五十九)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(六十)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(六十一)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(六十二)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(六十三)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(六十四)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(六十五)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(六十六)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(六十七)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(六十八)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(六十九)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(七十)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(七十一)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(七十二)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(七十三)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(七十四)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(七十五)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(七十六)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(七十七)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(七十八)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(七十九)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(八十)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(八十一)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(八十二)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(八十三)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(八十四)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(八十五)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(八十六)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(八十七)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(八十八)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(八十九)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(九十)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(九十一)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(九十二)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(九十三)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(九十四)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(九十五)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(九十六)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(九十七)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(九十八)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(九十九)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百一)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百二)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百三)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百四)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百五)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百六)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百七)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百八)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百九)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百十)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百十一)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百十二)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百十三)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百十四)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百十五)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百十六)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百十七)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百十八)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百十九)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百二十)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百二十一)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百二十二)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百二十三)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百二十四)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百二十五)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百二十六)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百二十七)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百二十八)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百二十九)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百三十)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百三十一)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百三十二)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百三十三)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百三十四)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百三十五)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百三十六)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百三十七)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百三十八)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百三十九)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百四十)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百四十一)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百四十二)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百四十三)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百四十四)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百四十五)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百四十六)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百四十七)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百四十八)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百四十九)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百五十)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百五十一)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百五十二)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百五十三)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百五十四)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百五十五)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百五十六)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百五十七)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百五十八)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百五十九)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百六十)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百六十一)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百六十二)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百六十三)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百六十四)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百六十五)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百六十六)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百六十七)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百六十八)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百六十九)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百七十)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百七十一)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百七十二)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百七十三)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百七十四)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百七十五)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百七十六)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百七十七)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百七十八)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百七十九)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百八十)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百八十一)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百八十二)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百八十三)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百八十四)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百八十五)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百八十六)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百八十七)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百八十八)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百八十九)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百九十)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百九十一)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百九十二)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百九十三)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百九十四)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百九十五)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百九十六)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百九十七)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百九十八)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(百九十九)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百一)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百二)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百三)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百四)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百五)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百六)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百七)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百八)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百九)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百十)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百十一)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百十二)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百十三)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百十四)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百十五)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百十六)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百十七)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百十八)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百十九)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百二十)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百二十一)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百二十二)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百二十三)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百二十四)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百二十五)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百二十六)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百二十七)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百二十八)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百二十九)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百三十)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百三十一)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百三十二)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百三十三)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百三十四)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百三十五)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百三十六)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百三十七)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百三十八)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百三十九)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百四十)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百四十一)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百四十二)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百四十三)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百四十四)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百四十五)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百四十六)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百四十七)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百四十八)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百四十九)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百五十)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百五十一)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百五十二)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百五十三)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百五十四)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百五十五)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百五十六)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百五十七)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百五十八)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百五十九)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百六十)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百六十一)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百六十二)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百六十三)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百六十四)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百六十五)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百六十六)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百六十七)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百六十八)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百六十九)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百七十)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百七十一)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百七十二)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百七十三)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百七十四)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百七十五)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百七十六)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百七十七)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百七十八)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百七十九)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百八十)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百八十一)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百八十二)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百八十三)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百八十四)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百八十五)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百八十六)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百八十七)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百八十八)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百八十九)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百九十)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百九十一)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百九十二)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百九十三)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百九十四)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百九十五)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百九十六)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百九十七)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百九十八)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(二百九十九)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百一)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百二)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百三)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百四)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百五)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百六)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百七)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百八)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百九)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百十)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百十一)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百十二)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百十三)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百十四)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百十五)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百十六)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百十七)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百十八)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百十九)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百二十)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百二十一)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百二十二)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百二十三)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百二十四)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百二十五)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百二十六)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百二十七)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百二十八)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百二十九)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百三十)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百三十一)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百三十二)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百三十三)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百三十四)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百三十五)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百三十六)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百三十七)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百三十八)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百三十九)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百四十)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百四十一)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百四十二)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百四十三)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百四十四)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百四十五)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百四十六)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百四十七)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百四十八)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百四十九)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百五十)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百五十一)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百五十二)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百五十三)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百五十四)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百五十五)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百五十六)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百五十七)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百五十八)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百五十九)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百六十)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百六十一)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百六十二)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百六十三)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百六十四)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百六十五)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百六十六)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百六十七)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百六十八)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百六十九)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百七十)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百七十一)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百七十二)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百七十三)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百七十四)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百七十五)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百七十六)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百七十七)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百七十八)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百七十九)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百八十)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百八十一)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百八十二)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百八十三)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百八十四)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百八十五)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百八十六)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百八十七)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百八十八)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百八十九)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百九十)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百九十一)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百九十二)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百九十三)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百九十四)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百九十五)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百九十六)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百九十七)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百九十八)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(三百九十九)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(四百)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(四百一)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(四百二)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(四百三)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(四百四)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(四百五)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(四百六)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(四百七)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(四百八)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(四百九)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(四百十)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(四百十一)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(四百十二)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(四百十三)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(四百十四)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(四百十五)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(四百十六)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(四百十七)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(四百十八)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(四百十九)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(四百二十)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(四百二十一)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(四百二十二)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(四百二十三)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(四百二十四)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(四百二十五)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(四百二十六)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(四百二十七)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(四百二十八)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(四百二十九)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(四百三十)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(四百三十一)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(四百三十二)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(四百三十三)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(四百三十四)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(四百三十五)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(四百三十六)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(四百三十七)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(四百三十八)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(四百三十九)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(四百四十)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(四百四十一)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(四百四十二)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(四百四十三)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(四百四十四)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(四百四十五)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(四百四十六)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(四百四十七)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(四百四十八)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(四百四十九)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(四百五十)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(四百五十一)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(四百五十二)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(四百五十三)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(四百五十四)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(四百五十五)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(四百五十六)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(四百五十七)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(四百五十八)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(四百五十九)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(四百六十)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(四百六十一)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(四百六十二)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(四百六十三)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(四百六十四)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(四百六十五)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(四百六十六)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(四百六十七)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(四百六十八)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(四百六十九)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(四百七十)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(四百七十一)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(四百七十二)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(四百七十三)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(四百七十四)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(四百七十五)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(四百七十六)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(四百七十七)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(四百七十八)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(四百七十九)西南郊の敵陣地に対し爆撃を加へたり

(

敵機らしき怪飛行機 昨夜・九州に飛來

西部防衛司令部發表

【福岡三十一日發同盟】西部防衛司令部發表 三十日午後九時頃九州上空に敵機と覺しき○機が飛來した兆候あり西部防衛司令部では全地區に對し同十時十三分警戒警報を發令せり

空襲警報を發す

【小倉三十一日發同盟】西部防衛司令部發表 その後怪飛行機は北上の形跡あるので九州北部山口地方並に宮崎、大分地區に空襲警報を發せり

陸軍省へも公報

【東京三十一日發同盟】三十日夜の九州敵空襲に關し同日夜十一時西部防衛司令部より陸軍省へ左の如き公報があつた 三十日午後九時三分頃西部地區に敵機一機飛來し爆弾を投下せり、西部防衛司令部は十時十三分管内に警戒警報を發したり

對馬沖に爆音

【京城三十一日發同盟】龍山師團司令部發表 三十日夜敵機鎮海灣の上空を通過、同十一時對馬沖に爆音を聞く、尚官廳で警戒警報を布いた

被害は何等なし

【小倉三十一日發同盟】西部防衛司令部三十一日午前十一時十分發表 國籍不明の飛行機は今機影以來全くその跡を斷つたものと判斷せらる、目下の所被害として數へるべきものなく冒險どころ搗布の如き兆候もなきものの如し、故に全地區の警戒警報を一日解除す

排日意識を拂拭し 教科書の改編に着手

臨時政府の教育方針決定

【北京三十一日發同盟】北支の教育工作は日華親善の基礎をなすものとして臨時政府はこれが教育確立に渾身なる熱誠を傾け排日教育の撲滅に万全を期してゐるが、この種新政府との間に教育一元化の方針が決定したので、愈々九月を期し小中學校用国定教科書の本格的編纂に着手し遅れる排日意識の拂拭、日支親善の促進の上に積極的に現出す事となつた 臨時政府の根本方針大要左の如し

一、教育行政は暫新政府治下に於ても使用する

一、青年教育の根本方針を排日教育の徹底的改革に置き排日思想の撲滅に努め併せて實學の習及を企圖する

一、小學校教育は義務教育制を原則とし此實人として必要な人格並に常識の培養を主眼とする

一、教師の再教育並に養成のため師範教育は特に慎重を期す

萬國博で五圓の前賣券

十月頃からお目見え

【東京三十一日發本社特電】昨秋紀元二千六百年祝賀日本を記念して開催する万国博覧會では現在千円の前賣券を發出中だが今度同博覧會の大衆化を圖る意味から新に五円券を發行する事になり商工省に許可方を申請中であるが速く

義宮様葉山から

御五ヶ月振りに御歸還

【東京三十一日發同盟】御四歳の御可愛らし盛りであらせられる、義宮様には去る一月二十九日以來葉山御用邸に御滞在中であらせられたが三十一日午前十一時十八分葉山より東京駅着列車で御五ヶ月振りで宮殿に御帰還あらせられた

海の荒鷲が猛襲

（上）漢口上空を快翔（下）雑陰を爆撃 海軍省許可濟

何れにか逃避

龍山師團管内も警戒警報

【小倉三十一日發同盟】西部防衛司令部發表 十一日午前一時頃何れにか逃避した模様であるので同一時二十分一日全地區の空襲警報を發令せり

【京城三十一日發同盟】龍山師團司令部發表 龍山師團管内は三十日午後十一時四十五分警戒警報を發令す

一瞬を待たず 水も洩らさぬ防空陣

防護團員の活動目覺し

【福岡三十一日發同盟】福岡縣下では三十日夜空襲警報發令されるや黒の武裝いかめしくすつぽり覆の服に水筒、防毒面を携へた夫々の部署に急行する、一瞬を待たずして水も洩らさぬ防空陣が布かれ各家庭では防護團員の指令を待たず率先空襲防空を完璧にしたが空襲警報は一瞬にして解除となり一瞬の緊張に終つた

【京城三十一日發同盟】龍山師團司令部發表 龍山師團管内は三十日午後十一時四十五分警戒警報を發令せり

福岡、宮崎兩縣下に一機づつ現はる

九州本土を目差したか

【東京三十一日發同盟】飛行機は三十日午後十一時二十分頃福岡縣糸島郡北崎村小呂島上空に現はれて來た、同時刻に宮崎縣高鍋にも一機現はれたが、之に依つて見ると東と北に分れて九州本土を目差して來たものと見られる

熊本市の北方まで來る

【福岡三十一日發同盟】三十日午後九時三分頃福岡西南方に敵飛行機一機現はれ天草上空を經て十時三十分前本市の北方六里の地点上空まで來た

空襲警報解除

【小倉三十一日發同盟】西部防衛司令部第一日午前一時三十分發表

服部時計店から百萬圓寄附

【東京三十一日發同盟】株式會社服部時計店社長服部玉三郎は三十日午後陸軍省に陸軍次官を訪問今度の事變に戦病死した將士の遺家族救護資として百万円を寄附した

蠶絲業のサボを企圖した張本人 死刑に處せらる

【モスクワ二十九日發同盟】二十九日アルメリアのエリバンからの報道に依ればアルメニア蠶絲トラスト支配人カモエズ氏は日本及びイタリーの諜報機關と通謀して蠶絲業の惡業を企圖した廉に依り死刑に処せられ二人の共犯者（一人は婦人）は十年の懲役に処せられた

日本船鳥羽丸機銃で射撃さる

濠洲の沿岸を航行中

【ポート・ダーウイン二十九日發同盟】濠洲政府沿岸監視船ラキア號は二十九日アルンヘム灣合に於て日本船鳥羽丸（三三噸）が停止信號を無視して領海内に進入し來たりたので機銃を發射之を停船せしめたが鳥羽丸は鳥羽丸の船員を捕獲して何等被害はなかつた 鳥羽丸の停止信號無視は全くの誤解に外他意なき事が判明し鳥羽丸は船内檢査の後航行を許された、ララキア號は鳥羽丸船員の不法上陸の確證ありと称して居る尚昨年來從事中だつた日本船二隻の拘留

南洋殖産から損害賠償要求か

【ポートダーウイン二十九日發同盟】南洋殖産株式會社の二隻の漁船が昨年十月ダーウイン港に於て拘留され損害賠償を要求してゐる事は既報の通りだが今度同會社は本社の損害賠償要求に關する訴訟を提出する筈である

白衣の勇士 國防獻金

見舞金十五圓を

○○陸軍病院に傷痍の身を療養中

小公學校兒童の體質向上を協議

臺北市で衛生係會議を開催

人的資源の涵養は少年少女の時代より台北市役所教育課では市内小學校二万二千名、公學校四万四百名計五万二千四百名の少年少女の體質向上を期するべく三十日午後三時より市役所會議室で小公學校衛生係の會議を開催、市から多數教師課長、山口課長、各學校からは學校衛生係二十名出席した 席上に同封の爲替は即住地新竹宛郵便局宛に同封の爲替は即住地新竹宛郵便局宛に同封の爲替は即住地新竹宛郵便局宛

海の荒鷲が猛襲

（上）漢口上空を快翔（下）淮陰を爆撃　海軍省許可濱

パラマウント社キャロル・ロムバート

これからは消化器病が多い

何よりも先づ豫防が第一

醫學博士　栗山重信

次代の國家を擔ふ兒童に接つて起つ兒童の健康の增進、發育の向上を圖ることは、最も重要な問題であつて、これに就いては家庭よりも忽にせず關心をもつていただきたいものであります。兒童の保健については病氣の豫防が第一であります。營養障碍、傳染性の病氣、寄生蟲に關して殊に多く起り色々の病氣、環境による衛生學的は豫防上の注意によつて、可なりの程度に豫防を免れ得るのであります。

○

小兒に發育の最も旺盛なる時期であります。から各種の營養物が缺くる事なく、充實して之を供給せられる事が必要です。營養物が或は其質に於て、或は量に於て不足する爲に發育障碍は切だなる者、乳幼期に於て人乳の量の不足して居るのが其原因で、牛乳を與へられて居たり、牛乳を與へ過ぎて與へられて居たり、又生後一年の終り或は一年以上經ても未だ人乳のみを與へて離乳が遲く遲れて居たり、或は各種のヴイタミンが足して居たりして營養障碍に陥つて居る小兒は極めて多いのであります。

○

乳兒、幼兒の營養法に就き從來は使用する事が必要です。それから飲食物の調理などに衛生と美しく一般に清潔の觀念の上に大切な事であります。

○

次代の國家を擔ふ兒童に接つて起つ兒童の健康の增進、發育の向上を圖ることは、最も重要な問題であつて、これに就いては家庭よりも忽にせず關心をもつていただきたいものであります。兒童の保健については病氣の豫防が第一であります。營養障碍、傳染性の病氣、寄生蟲に關して殊に多く起り色々の病氣、環境による衛生學的は豫防上の注意によつて、可なりの程度に豫防を免れ得るのであります。

○

小兒に發育の最も旺盛なる時期

○

小兒の罹り易い色々の傳染病に對しても豫防を第一と致し度いのであります。豫防しても罹る場合や百日咳なども注意、二、三年までに罹るのと六、七年以後に罹るのとでは危險の程度が著しく異り、幼若なる時には種々の併發の危險がある故、何時かかるとしても幼若な時にはこれを豫防すべきです。結核の發起は實に甚しくその感染の機會が多く、特に小兒はこれに對する抵抗力が弱いのですから一層豫防に努めねばなりません。又相當豫防の成績を望み得られる、ヂフテリー、百日咳、腸チフス、赤痢、猩紅熱に對しての ワクチンとか血清など其流行期に

必ず受け

臺北市內腸チフス豫防注射

（自後隔週午後四時）

月	日	曜	時	施行場所
六月一日	水	午後	大和町四丁目旭旅館前	
	木	午後	川端町一丁目出張所	
	金	午後	太平町二丁目物産商會前	
	土	午後	八幡町一丁目出張所	
	日	午前	日新町二丁目出張所	
六月八日	水	午後	大和町四丁目旭旅館前	
	木	午後	川端町一丁目出張所	
	金	午後	太平町二丁目物産商會前	
	土	午後	八幡町一丁目出張所	
	日	午前	日新町二丁目出張所	

円山町陳君藥方（四〇成）

保護せよ六歳臼齒を

咀嚼に大切な永久齒です

口腔衛生の中で最も大切なことは、六歳臼齒を護れ！といふことです。この六歳臼齒は、第一大臼齒といはれるもので、兩六歳頃乳臼齒の後方に上下左右各一本づつ生える永久齒の一番早く生える永久齒です。六歳から十二歳頃迄は、乳齒が脫け落ちて、永久齒がその跡へ生え換るのですが、外の齒は完全な咀嚼の働きが出來ますから、六歳臼齒はその間食物を咀嚼する役目を一手に引受けるので、大切な齒であります。

×

又六歳臼齒は他の永久齒が正常な位置に生える基礎をなすものですから、この齒が他の永久齒が生え揃はないうちに齲齒になり放ける様なことがあれば、齒列を亂し顎の發育も妨げられますから、特に注意にせねばなりません。殊にこの齒の咀嚼面には凹みがあつて、食片が溜り易くそれに口腔衛生思想の足らない年頃に生えるために外の齒よりも齲齒にかかり易いのですから尙更注意が肝要であります。

×

大人でもこの齒は最も明瞭に重要ですからたとへ齲齒等になつても、なるべく保存治療することで治療が叶はず拔去した場合には、なるべく早く（二月以内）に義齒を作る必要があります。それはただ咀嚼の回復ばかりでなく、拔けたまま久しく過ぎると、その隣の齒が次第に傾き、且つ齒と齒の間が次第〳〵と間隙が出來て、機能を亂します。

何に新入學中で最も完全なのは乳歯の時期ですから、この時期の永久歯の足らない年頃に生えるために外の齒よりも齲齒にかかり易いのですから尙更注意が肝要であります。

×

大人でもこの齒は最も明瞭に重要ですからたとへ齲齒等になつても、なるべく保存治療することで治療が叶はず拔去した場合には、なるべく早く（二月以内）に義齒を作る必要があります。それはただ咀嚼の回復ばかりでなく、拔けたまま久しく過ぎると、その隣の齒が次第に傾き、且つ齒と齒の間が次第〳〵と間隙が出來て、機能を亂します。

何に新入學中で最も完全なのは乳歯の時期ですから、この時期の永久歯の足らない年頃に生えるために外の齒よりも齲齒にかかり易いのですから尙更注意が肝要であります。

連載漫畫　センチャン

90　川原久仁於

センチャンノ、ツチガキレタト、オモツタラ、ツヅイテ、モクサンノツナモ、プツリトキレタ。ヨロコンダラ、ツヅイテ、ヨクヒキツタ、フカクンガ、ヤチヤタマラナイト、ビクビクモノ。

ヨクミテモ、ドウヤラ、ヤナイヤウス。コノヘトキ　バカリ、モクサン、ザブリト、ウミヘトビコミ、イスヲ、ツナギアハセテ、シンアン、イスブネガデキタ。ガ、コンドハ、オナカノモンダイ。

相談の口

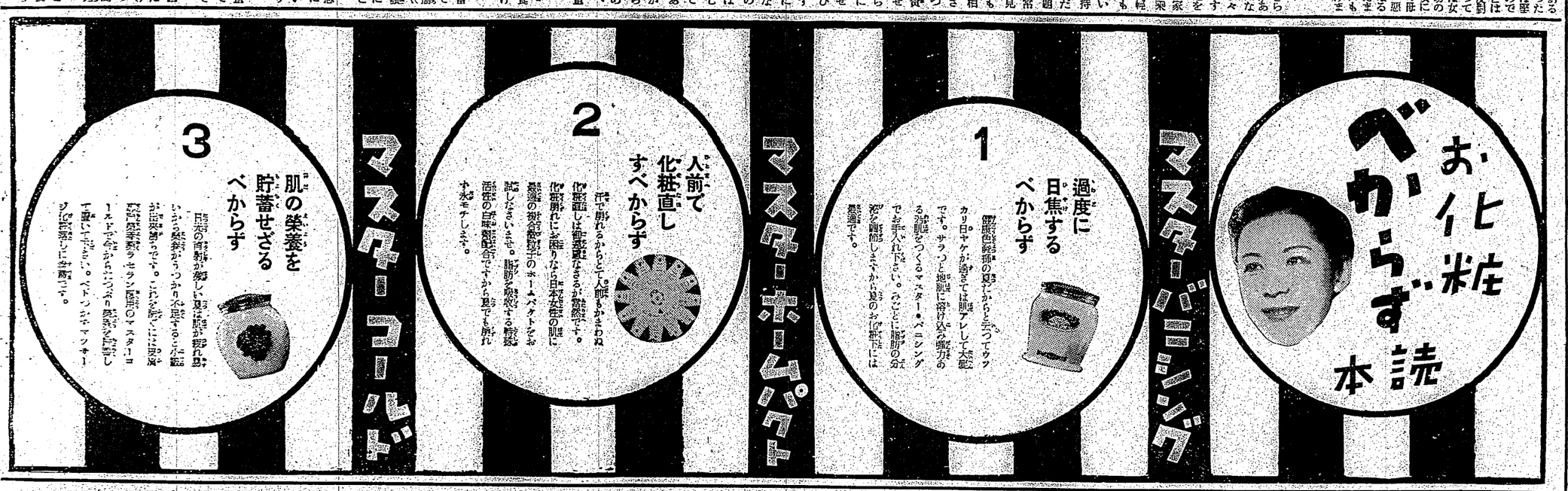
相談相手もなく思案に暮る物靈上の問題で御相談になりたい方は手紙で身の上相談係迄御申込み下さい、電話や面會は御斷りします。

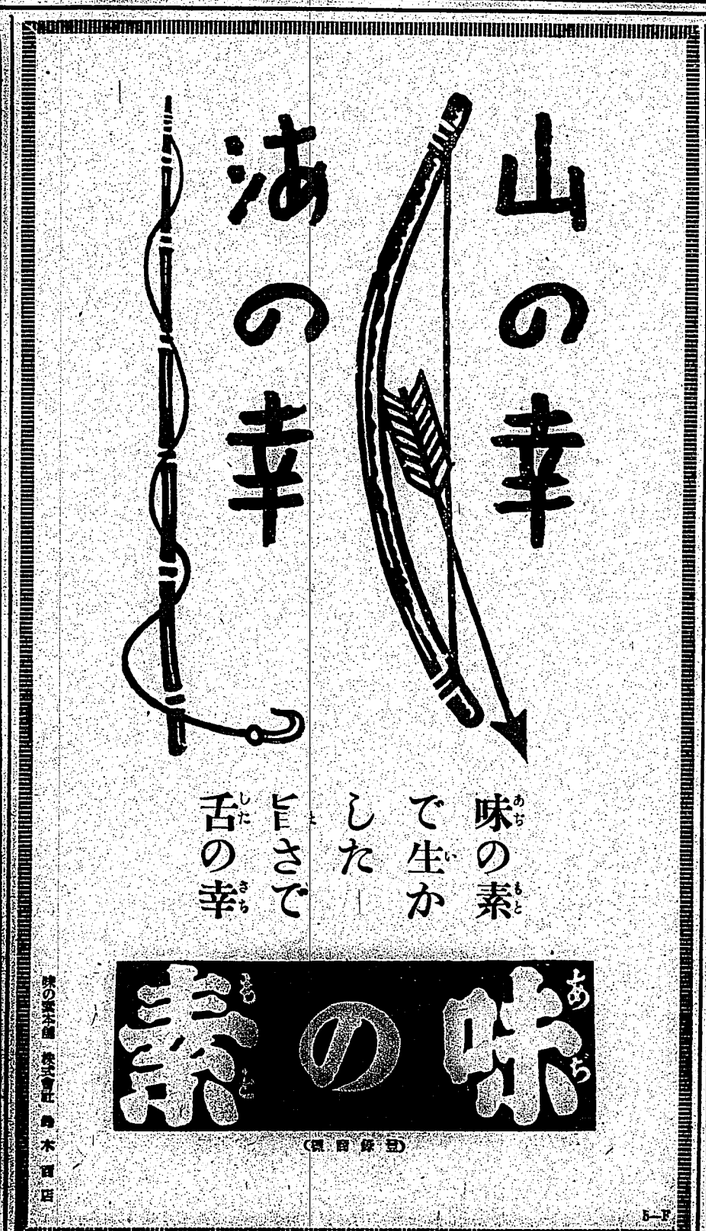
父兄が結婚に反對する

問　私は今年二十二になる男です。昨年の十月頃親友Aの紹介で其の親戚に當る女性との結婚問題がありました。間もなく私は一面識ばかり入院生活を送つたのですが年が改るとまた縁談が持ち出されました。私は面倒と思ひながらも友の熱心と女がすつと其の後望をかけてゐたといふのに動かされて父母の許を得た兎に角見合をすることにしました。その方法はAその他二、三の友と彼女の家と彼方の寺まで案內してもらふことにしたのです。彼女及母娘方とは一緒に案內して呉れて大層よく進びました。私も大變気に入り早速家の人に紹介したのですが調査の結果肝臟の父と兄が反對し出したのです。それは氣が荒いといふ理由でやせてゐるといふやうな理由です。然るに父兄の調査してゐる間に僅かな事をしたのです。Aの家が女の家と親戚關係で女と會つて滿足の會を作つてくれ女の母も私を信頼してゐたといふやうな事で段々女とも親密になり、今他にも縁談があり、女の父が案外意張な人であるから他には嫁きたくないといつたやうな話をも聞き結局二人は堅く將來まで誓つてしまつたのです。勿論父兄が反對しようとは思ひませんでしたが實際は反對が日に日に强化するので困つてしまひました。父兄の反對は女を非常に悲しみ、万一不幸の場合は私は友に顔が立たずなに氣の毒でなりません。女の母なども毎日心配してゐます。恐くなると死をも覚悟せねばなるまいかの進退兩難に悩んでゐます。是非私は勿論父兄の爲にも光明的御指導をお願ひ申上げます。（北豫K）

諒解工作が第一

答　貴君の進退にまんざら手紙を拔外した所ばかりでもないが、お互ひに少々軽率だつたといふ所は慾まれます。恐らくAもその父母もふを良縁と認め、女の家の方はAの家と親戚といふ關係から信用して來氣になつたといふことで耳が手軽く持運ばれ思の外の進展を見たものと考へられますが、大體さういふ重大な事を若年の貴君に直接持込んだだけでどん〳〵事を運んだことからして貴君とAとは別問題としてもAの親御もその親も非常識過きると思ひます。又調査と見合とが逆であつた、特に父も兄も揃つて反對されるといふ事を想像さ驚い理由の伏在する事を想像されます。然したから事ここに至つて若年なりと雖も男一匹である貴君の責任的立場をむげに後退させる事は許されないと思ひますからそれこそ熱誠をつくして父兄に諒解を與へ諒解したければなりません。親族中の長者などにもお願ひして父兄に説得してもらふことです又二方Aの兩親から正式に父兄に話を持込んで貰ふことにせねばなりますまい。何れにしても父兄の心境が判然する迄は貴君としては自紙に立戻り自重することを望します。これ以上直接女と接近しては事をいよ〳〵面倒にします。あらゆる工作をしてみて父兄の許が得られないとすれば貴君には判らなくとも、そこには必ず語を進める事の出來ない理由があると考へねばなりません。ひたすら御自重を願ひます。（北豫）





星…と御指命印刷所へ

會葬御禮　神保胖

會葬御禮　井上大作

江戸桃花陣 (41)

（時代映画）

海音寺潮五郎作
富永謙太郎畫

大河端（四）

姫は自分を護衛してゐる女の顔をチラ〳〵見たが、それ以上別に深い注意を拂はないで、

「まあ、まるで今日はもう、夏ねえ」

と供の女中に言つて、さうさと歩き出した。その袂が左右に曲つて見えなくなるまで、おりんはあとをふりかへり〳〵歩いたが、ふと前の方から來る武士の姿を見るとあわてて顔の前に袂をかくした。

隼川邸と外である。隼人家でも近づいて來たが、姫が出た家の前まで來ると、ぎくりとしたやうに立止つた。顔をついたやうに立止まつたまま、ぢつと門内を見つめてゐるのである。

が、門方から人の來るのを見ると、急にそわ〳〵と歩き出した。しかし、遠くまでは行かない。その人の姿が見えなくなると、また引返して來て、蘇の下をゆつくりした足どりで歩いてゐるのだ。時時蘇の上から外へさし出してゐる桐木の上を見上げるのだが、その眼が、ある時は驚くやうなかがやきにみたされ、ある時は憂鬱な色に變る。あたかも、その眉眼の中に、彼を引いてやまぬ強い力があつて、そのためにどうしても立去ることが出來ぬと言つた感じである。

おりんは、驚嘆から眼を離さずにその顔を見てゐたが、妙に胸が苦しい、切ない気持になつた。むづ痒いやうな、いら〳〵するやうな、居ても立つてもいられぬ気持がつのつて來るのだ。

「何だい、みつともない。まるで農夫ピエロのまねをしてゐる。」

おりんはぢりぢりとこれを見てゐる。

「ばか、ばかな！さ、さ、さやうな……いや、失礼いたした。また、いづれ……」

とてもお美しいお顔立ちがいらつしやるんですもの。その方を張りにいらつしやつたものと思ひますわよ。ほほほほほほ」

親之介は可哀さうなくらい赤くなつた。

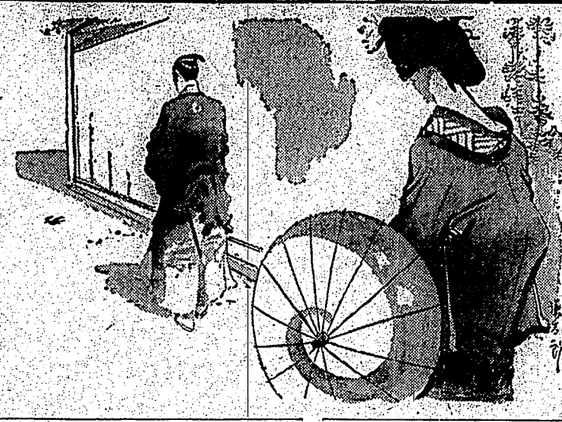
「ば、ば、ばかな！さ、さ、さやうな……いや、失礼いたした。また、いづれ……」

そして、そこ〳〵に立去つて行つた。

それを見送つて、

「うぶだわねえ」

おりんは、ぱちんと扇をひらいて、それをくる〳〵と廻しながら微笑して立つてゐた。



カナ文字ニュース

△ワガ空軍ノ三日間ニワタル廣東バクゲキニヨリ敵ノ軍司令部ヲハジメ飛行場、軍需品工場ナドニバクダンガ命中シテ火災ヲオコシ廣東市内ハコンランシテキマス英國ハ香港カラ廣東ニ軍艦ヲ急派シタサウデス

△徐州ヲ中心ニソノフキンノニゲオクレタ敵兵ヲワガ軍パガタツパシカラセメテキマシタガクワンゼンニ掃滅ガデキマシタソレデ避難民モゾクゾク歸ツテキマス三十一日イヨイヨ治安維持會ガデキテ新政權ニ參加スルコトニナリマシタ

女形修業話 (四)

中山楠雄

現代の女らしい女形

女形祕傳と尾上梅幸

磯助位樂でなく女らしい女形も少ない。

他に梅幸の養子になつた尾上福助、東寶劇團にゐる現尾上菊門の息片岡鶴蔵、即世盛の立女形河原崎国太郎それから左團次のよき相手役市川松尉、新派の方では若宮貞路、成田守雄、五郎一座の桃蔵、駒吉、関西歌舞伎で働いてゐる福野非酉男先づかうした人達が、現在では女形らしい女形といへると思ふ。

×

しかし惜ら眞の女形らしい女形がかういふ風に少いといふのは、次の禁欲あやめの教師を聞けば、自からその間の原因が解らうといふものである。

——女形にでる惜ら、若しこれで行かすば、立役に直らんと思ふ心がつよく否や、藝は砂になるはならぬにて合点すべし、ほんの女が、男になるべきや、その心にては女の情にうとき習なり

つまり女形の女形らしさが無くなり、眞の女形の無くなつてきたといふ事は、女形專門が少くなつたからである

×

以上述べた所の女形らしさ女形といふ中にも、全く女形以外に男役をやらない女形は數へる位しかゐない。

鶴蔵、梅蔵、若宮、成田、桃蔵、福野非位のもので、歌舞伎よりも新派その他に多いといふのは、女形が立役をやる時、その女形の生命は一度に消滅する事も考へねばならない

×

女形修業の秘傳書の一節に

——女形二足靜かに、其後立早めて入る手當の例なる

——間城は紙にて洟ぬぐふ也

——女は顔をもつていで泣く

——坐する時、男は尻を地につけず、女は左の膝を立つべし

かうした事は實際多くあつて、一々例挙する事は全く一部の書物を作る位に足るであらう男が女の生活をする

この女形の修業位、寶劇ほどまで不自然な生活をあるまい

これは勿論精神的に苦痛といふばかりでなく、實に生理的にも堪めて不健康そのものの生活といはねばならない

×

一生の名女形、亡き尾上梅幸は、既に目の老いた顔を鏡に寫し出すの苦痛に堪へず、又今日のあの立派な華やかな舞台の照明の即にさらされる事を悲しんで、引退を急いでゐる

海外小話

二十五年後の生活

來るべき新時代生活は最も簡素で面生的にとニューヨーク富豪會社社長間エドワード・ベンドレイ氏はニューヨーク鉄道クラブの席上二十五年後の一九六三年の世界を予言してゐる。即ち二十五年後の世界は万事が洗練された生活を送み各色病氣の心配は無くされ、野菜類も總て電氣で以て土壌なしの園場で栽培される様になり、害蟲や電害や害獣の心配は避けられ、生野菜から風呂する衛生設備も整備出來る様になる、ベンドレイ氏の言葉を借りれば

一九六三年の人間は、決して眉を切れない耐火性の穀物で出來た衣服を着し、洗濯するには電氣爐の中にはより込めばそれで事の足りる様な簡易な生活を營むだらう。

フランスの觀光事業

「レオナルド・ダ・ヴインチの「モナ・リザ」その他幾多の傑作を藏するルーブル博物館、エッフエル塔その他を始め世界に誇る數多の記念物を有する事のパリが、年々世界各地から旅行者を呼び集めてばら撒かせるお金がどれ位あるか蓋し想像以上のものがあらうが、フランス美術品輸送の昨年度の統計では

ルーブル博物館入場者数は五十三万七千八百九十九人、一日平均三千五百人その入場料は八十五千弗

一、エッフエル塔の昨年入場者は八十一万百八十九人でその料金額は

望に大きい

殊に昨年はパリ万国博が開催されてゐた事とて、フランス全土の博物館及美術館入場者は三千五万ドルをばらまき、一九三六年に比し幅加してゐる。

次きにヴエルサイユ宮殿であるが、その入場料収納額七万五千ドルで、一九三六年度の二倍である又凱旋門も同樣二倍の人氣だ。最後にノルマンデー、ブルターニュ間のサン・ミツシエル山の奇巌であるが、その觀覽者数は八十二万四千四百五十一人の多数に上つてゐるといふ

映畫の片貿易打破も

海外邦人相手では心細い

ニュースの輸出が斷然筆頭

映畫の片貿易打破の声は數年前からつてきつつあるが国産の躍進や技術的に見て日本映畫の水準が他いとされ海外輸出は大振の狀態をつづけてゐる。大日本活動寫眞會社映畫會の調査によると内務省に繰出映畫檢閲制度が設けられて領かに二ケ年、昭和十一年度の一、〇五二本が同十二年度は一、九五一本に飛躍し八九九本の増加となつて居り、各社の内訳は

松竹八八、日活三二、新興四二、東寶二〇、大都五、大泰八三、新興亜ニュースその他が一、六八〇

輸出とはいひ條件映畫は二八一本に過ぎない。仕向地はアメリカを筆頭にペルー、ブラジル、比蘭印、新嘉坡、カナダの順、アメリカもその筋とはホノルル、ロスアンゼルスの在留邦人向で機密の意味で外国市場進出とはいへない。プ

君——

【ロンドン】ラヂオの人氣者ワッド・ルーフ君、ルーフ君つまらぬ話をしたとこぼしながら國民をつけてぼりぼりかじつて居ります、この光景がアレキサンダー・バレスよりテレビジョンで放送

カンカン帽をかじるルーフ君

歯ぶらの隣に置けて約束通りカンカン帽を喰はされました、ルーフ君つまらぬ話をつけてぼりぼりかじつて居ります、この光景がアレキサンダー・バレスよりテレビジョンで放送を笑殺しました。

商況（卅一日）

臺灣正米市場前場

▲一期短藁米

銘柄	先	中	後
中一等	二〇六	二〇六	二〇六
中二等	二〇四	二〇四	二〇四

▲門司速藁米

銘柄	先	中	後
門一等	二〇五	二〇五	二〇五
門二等	二〇三	二〇三	二〇三

臺北公定相場

▲一期短藁米　二三車

銘柄	先	中	後
一等	二〇六	二〇六	二〇六
二等	二〇四	二〇四	二〇四

基隆在庫米

▲一期短藁米　一日朝現在　五三五袋　一〇七六（五五〇袋）

高雄在庫米

▲一期短藁米　四車

東京期米前場

銘柄	先	中	後
一期短藁米	三四九	三四九	三五〇
二期短藁米	三一〇	三一〇	三一〇
三期短藁米	二九九	二九九	二九九
四期短藁米	二八八	二八八	二八八

大阪期米前場

銘柄	先	中	後
一期短藁米	三四六	三四六	三四六
二期短藁米	三一〇	三一〇	三一〇
三期短藁米	二九九	二九九	二九九
四期短藁米	二八八	二八八	二八八

神戸期米前場

銘柄	先	中	後
一期短藁米	三四六	三四六	三四六
二期短藁米	三一〇	三一〇	三一〇
三期短藁米	二九九	二九九	二九九
四期短藁米	二八八	二八八	二八八

東京銘柄前場

▲一期藁米　寄不申　止不申

▲一期九州米　寄不申　止不申

東京銀行實株

銘柄	先	中	後
日本興業銀行	一九六〇	一九六〇	一九六〇
日本勧業銀行	一九五三	一九五三	一九五三
横浜正金銀行	一九七一	一九七一	一九七一
朝鮮銀行	八九三	八九三	八九三
台湾銀行	二〇二	二〇二	二〇二

東京國債實物前場

銘柄	先	中	後
第二回分利	一〇三・三〇	一〇三・三〇	一〇三・三〇
第二回分利	一〇二・三五	一〇二・三五	一〇二・三五
第二回分利	一〇一・三〇	一〇一・三〇	一〇一・三〇
第二回分利	一〇〇・三〇	一〇〇・三〇	一〇〇・三〇
第二回分利	九七・八〇	九七・八〇	九七・八〇

東京短期前場

銘柄	先	中	後
第一回利付國債	一〇三・三〇	一〇三・三〇	一〇三・三〇
第二回利付國債	一〇二・三五	一〇二・三五	一〇二・三五
第三回利付國債	一〇一・三〇	一〇一・三〇	一〇一・三〇
第四回利付國債	一〇〇・三〇	一〇〇・三〇	一〇〇・三〇
第五回利付國債	九七・八〇	九七・八〇	九七・八〇

東京銘柄前場

▲一期藁米　寄不申　止不申

▲一期九州米　寄不申　止不申

大阪銘柄前場

▲一期藁米　寄二〇七

東京期米前場

銘柄	先	中	後
一期短藁米	三四九	三四九	三五〇
二期短藁米	三一〇	三一〇	三一〇
三期短藁米	二九九	二九九	二九九
四期短藁米	二八八	二八八	二八八

大阪期米前場

銘柄	先	中	後
一期短藁米	三四六	三四六	三四六
二期短藁米	三一〇	三一〇	三一〇
三期短藁米	二九九	二九九	二九九
四期短藁米	二八八	二八八	二八八

神戸期米前場

銘柄	先	中	後
一期短藁米	三四六	三四六	三四六
二期短藁米	三一〇	三一〇	三一〇
三期短藁米	二九九	二九九	二九九
四期短藁米	二八八	二八八	二八八

高雄在庫米

銘柄	先	中	後
一期短藁米	三四六	三四六	三四六
二期短藁米	三一〇	三一〇	三一〇
三期短藁米	二九九	二九九	二九九
四期短藁米	二八八	二八八	二八八

東京短取組除合

銘柄	先	中	後
新東	二四六	二四六	二四六
東	二〇七	二〇七	二〇七

買方二九店　賣方五八店

同

買方二二店　賣方五八店

東京長期建取組

買方二二店　賣方六一店

同

兩建控除

銘柄	先	中	後
新東	二四六	二四六	二四六
東	二〇七	二〇七	二〇七

買方二九店　賣方五八店

大阪短期前場

銘柄	先	中	後
日本	二四六	二四六	二四六
大株	二〇七	二〇七	二〇七
日株	二〇四	二〇四	二〇四
大株	二〇二	二〇二	二〇二

横濱生絲前場

銘柄	先	中	後
六月限	六八〇〇〇	六八〇〇〇	六八〇〇〇
七月限	六八〇〇〇	六八〇〇〇	六八〇〇〇
八月限	六九〇〇〇	六九〇〇〇	六九〇〇〇
九月限	六九〇〇〇	六九〇〇〇	六九〇〇〇
十月限	六九〇〇〇	六九〇〇〇	六九〇〇〇

神戸豆粕前場

銘柄	先	中	後
五月限	五〇七	五〇七	五〇七
六月限	五〇七	五〇七	五〇七
七月限	二〇〇	二〇〇	二〇〇

神戸對外爲替前場

銘柄	先	中	後
對米	二八九	二八九	二八九
同	先物	先物	先物
對英	三一分七貫	三一分七貫	三一分七貫
同	先物	先物	先物
對英	三一分三五貫	三一分三五貫	三一分三五貫
同	先物	先物	先物

倫敦金塊相場

銘柄	先	中	後
七月	一二六〇〇	一二六〇〇	一二六〇〇
八月	一二六〇〇	一二六〇〇	一二六〇〇
九月	一二六〇〇	一二六〇〇	一二六〇〇
十月	一二六〇〇	一二六〇〇	一二六〇〇

倫敦砂糖

銘柄	先	中	後
五月限	五四〇	五四〇	五四〇
八月限	五四〇	五四〇	五四〇
十月限	五五〇	五五〇	五五〇

倫敦金塊相場

銘柄	先	中	後
七月	一二六〇〇	一二六〇〇	一二六〇〇
八月	一二六〇〇	一二六〇〇	一二六〇〇
九月	一二六〇〇	一二六〇〇	一二六〇〇
十月	一二六〇〇	一二六〇〇	一二六〇〇

大阪砂糖現物

銘柄	先	中	後
三盆（OB）	一〇四二三錢	一〇四二三錢	一〇四二三錢
分蜜（M〇）	九四九七錢	九四九七錢	九四九七錢
粉糖（粉）	一二四四五錢	一二四四五錢	一二四四五錢
同（白）	一二四四五錢	一二四四五錢	一二四四五錢
同（三）	一二四四五錢	一二四四五錢	一二四四五錢
黑糖	四四六〇錢	四四六〇錢	四四六〇錢

倫敦銅現物

銘柄	先	中	後
倫敦銅現物	一八片八分七	一八片八分七	一八片八分七
同	先物	先物	先物
孟買銅現物	四九五四五四分一	四九五四五四分一	四九五四五四分一

倫敦砂糖

銘柄	先	中	後
四月積替	一六〇二片	一六〇二片	一六〇二片
正糖価格	一六〇二片	一六〇二片	一六〇二片
預金	一六〇二片	一六〇二片	一六〇二片
出金	一六〇二片	一六〇二片	一六〇二片
賃金	一六〇二片	一六〇二片	一六〇二片

東京市中コール

銘柄	先	中	後
翌日拂	〇・六三	〇・六三	〇・六三
翌月越物	〇・六五	〇・六五	〇・六五

日銀帳尻（單位千円）

銘柄	先	中	後
證行高	一八六・六三		
正貨備高	八〇二・三三		
預金	三九八・四九		
出金	三五四・九九		

氷の消費高

海陸共に減る

總消費量の大部分を占めてゐる漁業用氷は昨年冬季から本年春季にかけての暖冬期に漁獲が不振に減した為一年中の世人れ時期たる春期に於ても、二四月頃は金高的の最時低迷で一般飲料用の消費を圧まれたに、北部地方は最近漸く天候回復し氷のシーズンに入つたが例の氷屋製造業取締規則の励行でキャンデーとアイスクリームは後退に減少し氷屋は全く上つたりである。

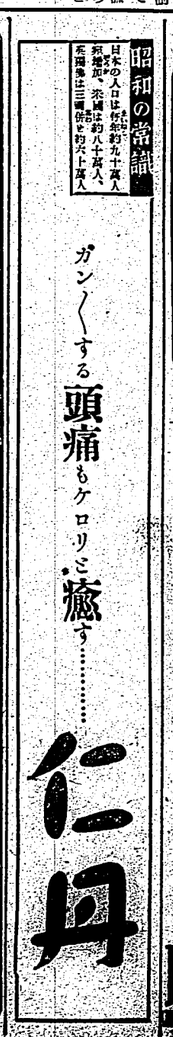
北市内大和製氷に昨年末鐵元統制の結果氷需要期に大部分休轉してゐたが最近の商況方面に於ける漁業用氷不足の為十月二十四日から製造に着手し二七七日以降氷場を再開してゐる

輸出柑橘激減

蔬菜は増加

昭和十二年五月一日から十三年四月末迄月に於る二期年間の臺北州下輸出柑橘類は三万二千五百六十七箱、移出二千八百八箱に上り前年同期に比し二万二千四百五十箱の減少してゐる、右は州當局者實施と共に輸出が厳密となり不合格品が多いに二、三月頃に於ける誘導奨励の効果大連、雲南向けの輸出が激減した為めである、之に反し青果蔬菜は大連向け四万三千二百六十一箱と上り前年同期に比し一万一千五百八十一箱増加してゐる、此の内訳向け移出数量は昨年約二万箱内外に上つてゐる

本年度　前年度
青果蔬菜　四二、六三箱　三二、六〇箱



（第二版）（京城電話）（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）昭和十三年六月一日（水曜日）

臺灣日日新報

日刊夕刊共六十頁

社長　佐木茂索　人行設兼編輯

臺北市榮町四丁目　臺灣日日新報社　所行發

本社電話　一部六錢・二ヶ月金壹圓・三ヶ月金壹圓拾錢・半年金壹圓五拾錢・六ヶ月金八圓・一ヶ年金拾七圓（內地・滿洲・支那・海外共郵費）

廣告料　特別・一行十五錢　同　貳拾錢　同　貳拾五錢

振替口座臺灣一〇番　臺北二番

編輯　代表五八〇五・二二〇六　營業　五八〇三・二二〇六　庶務・會計・販賣・五八〇二・二二〇六　電信略號　臺日

社說

臺灣の林政と調整、統合

大會の決議にも盛みたい

一

少しく古い統計ではあるが、昭和十年度における臺灣の森林の總收入は、六億八千五百万円になつて居る。獨逸に次ぐ位置を擁して居る數字と言はるる。農業の二億八千万円が首位で五二・七%を占め、次いで工業が二九・三%、鑛業になると又ぐつと下つて三・三%、水産が二・八%、畜産一位が林業で一・九%、金額で一千二百餘円といふ貧困さである。人も知る如く、臺灣は所謂「イルマ・フォルモサ」で森林を以て敵はれた美しい島。林業はたしかに首位でなくとも少くとも最下位などではなかるべき筈だ。それが現在斯樣に收入の僅かに二%にすぎず、しかも一位と見ると、數年前の臺北市で盛大に挙行された臺灣山林會大會の決議に於て指摘したことが全く其の主因となつて居るのでは無いかと考へられる。

二

同決議には臺灣林業關係の方策として府內に局又は部を設けて林政を統一すべきであるとし、臺灣林業の不振は畢竟殖產局、營林所內務局及び專賣局の四原政治の下に存るに過ぎるもので、此の際關係林務局及び專賣局の所管事業の整理を敢行して之が二元化を圖ることが急務であると言ふ點を強調して居る。なる程現在としては先づ殖產局に山林課があり林業行政機關の首腦部として所業務の綜覽、保安林の導入解除、治水治山林及び國有林所業の一部の管理に當つて居り、更に營林所は中央直營の如き立場に於て、總督指定の林野に研伐、造林等の事業及び林產物の處分收益等に當り、又た內務局は林野內の土地の賃貸、地下等の處分權を行ひ、官廳の關係に在る營林所は一切之に手を出すことが出來ない。更に總督に對しては造林行論は一切殖產局の關係に關するが之が伐採は專賣局の所管で其の保護林營育の一部も殖產局に委ねることになつて居るのである。

三

同じ林政に關する事でありながら、其の管轄の關係が頗る大所館縁し如何ともやうこしくなつて居て、命令が四つの機關から發せられる實情にあるので、當に事務の能率を缺くのみならず、時には見解の相違から問題を惹るのが如き無駄さへ生ぬとは限らない。即ち國家的一大條件として林業收入が機關の二分にすら適せぬといふ理由も、主に從に存する のではないかと思はれる。內地に於ての如き林政は殆く殖産省の管轄として統一せられ、樺太民行林のみが大藏省專賣局の管轄するところとなつて居り、又た土地の賃下拂下等の處分も同省專賣局に一任せられ、朝鮮に於ても大體之と同じ仕組となつて居て、獨り臺灣のみが所謂四頭政治の下にあるのである。此の間の事情が指摘せられ其の機構改革の必要の唱へられたのは、昭和四年大日本山林大會が嚆矢で次で同五年石塚總督時代の產業調査會に於て二省員より此の事が答申されたのが其第二回目。そして今回の決議が第三回目である。而も二度迄之を指摘したのは大日本山林會の副會頭たる佐藤謙五郎博士であつて、同博士の首唱が毎度採用され關係者の總意に依て具體されて來たのである。歷代調査會が總て之を採て居る以上、此の林政機構改革に關しては臺灣當局者の意向が挽回はるべきもの と信ずる。

敵が最後據點ご恃む

開封の前衞陣に肉薄しつつ

敵兵を殲滅しつつある

【北京三十一日發同盟】引續く敗戰に戰意を失ひ只管潰走を續ける黃杰、劉汝明の南軍約七箇師を追ひ堂々中原に戰果を擴張しつつある我が○○、○○、○○の各部隊は連日敵の據點を席卷しつつ進擊を續けつつあるが三十一日早朝には早くも敵の最後の據點と恃む開封の前衞陣地である睢縣、拓城を結ぶ南北の敵の抵抗線に肉薄し、引續き敵大部隊を殲滅しつつある

敵機廿機を擊墜

【上海三十一日發同盟】親しく景を御覽あらせられる天皇陛下には來る廿日に挙行せられる陸軍部隊閱兵に依り創設された新編の第四師團と同盟の陸軍式御覽を賜はせられることになり三十一日宮內省第九號を以て御座に關する儀を公布せしめられた。この度の御改正は御覽場、御覽臺、御覽臺の場合で御覽所は立折襟、金色刺繍軍旗一旗及び銀色刺繍軍旗を附した儀仗旗の時には金モール飾旗組に金色刺繍軍旗一旗及び銀色刺繍軍旗を附した儀仗旗たる

畏し天皇陛下も

新軍服を召し給ふ

特別の御場合には戰鬪帽

【東京三十一日發同盟】親しく景を御覽あらせられる天皇陛下には來る廿日に挙行せられる陸軍部隊閱兵に依り創設された新編の第四師團に新たに陸軍式御覽を賜はせられることになり三十一日宮內省第九號を以て御座に關する儀を公布せられた。この度の御改正は御覽場、御覽臺、御覽臺の場合で御覽所は立折襟、金色刺繍軍旗一旗及び銀色刺繍軍旗を附した儀仗旗の時には金モール飾旗組に金色刺繍軍旗一旗及び銀色刺繍軍旗を附した儀仗旗たる

御用掛を附させられる、御用掛は上級將校佐官を一名のみとせられ御外套は襟章あり立折襟、帽には徽章を附し御外套は襟章を一名を超した襟章があり、マントも同樣立折襟で襟章の數に應じ襟章と同樣の銀四條が附されることになつたもので新軍式の御服は二日から御着用あらせられると承はる、殊に大演習の御服装は特別の御場合には御定のなき將兵御同樣襟章を召されない。御服色の由に拜承する

參內した模樣を

小林總督が謹話

臺灣倶樂部午餐會で

【東京三十日發電話】台灣倶樂部では本日正午九の內海上と光中央亭で定例午餐會を開き、小林新督を招待した。在京會員、總督・中川拓殖局長官・河野拓務局長官・四・名出席席に於る臺灣會であつた。先づ石塚會長より挨拶を述べ、之に對し小林長官は大要左の如き謹話を述べ、終つて別室に歡談の後、午後二時頃散會した

當日局長、台灣關係各社長等八十餘名出席席に於る臺灣會であつた。先づ石塚會長より挨拶を述べ、之に對し小林長官は大要左の如き謹話を述べ、終つて別室に歡談の後、午後二時頃散會した

席上、光中央亭で定例午餐會を開き、小林新督を招待した。在京會員、總督・中川拓殖局長官・河野拓務局長官・四・名出席

專任鐵道部長決定

交通局官制改正に伴ふ異動發令

【一部發】交通局官制改正の結果新に設けられた專任鐵道部長と鐵道部總務課長の任命を總督府の人事異動は井一日附で左記の通り發令された。尚交通局小山技師の營業課に鐵水技師の總務課長も同日附で發令された

交通局參事　鐵道部總務課長兼鐵道部長　渡部屋之進

任鐵道部總務課長　渡部屋之進

鐵道部總務課長兼鐵道部長を命ず

同　鐵道部總務課長　市來　豈至

鐵道部總務課長兼鐵道部長を命ず

地方理事官　同地方理事官

臺中州勤務を命ず（勤務課長）

同　臺北州勤務を命ず（勤務課長）　須江　英雄

任鐵道部總務課長　渡部屋之進

任鐵道部總務課長　渡部屋之進

鐵道部總務課長　市來　豈至

鐵道部總務課長兼鐵道部長を命ず

地方理事官　同地方理事官

臺中州勤務を命ず（勤務課長）

同　臺北州勤務を命ず（勤務課長）　須江　英雄

交通局官制改正

交通局參事　鐵道部總務課長　渡部屋之進

任鐵道部總務課長　渡部屋之進

鐵道部總務課長　市來　豈至

鐵道部總務課長兼鐵道部長を命ず

地方理事官　同地方理事官

臺中州勤務を命ず（勤務課長）

同　臺北州勤務を命ず（勤務課長）　須江　英雄

大道無門式人事

專任鐵道部長決定まで

現職の眞鍋の慶來によつて彩を出した專任鐵道部の新設は去る二十八日公布された官制によつて中島氏が一年先輩であり身分の渡部氏がはち切れさうな元氣なのに比し中島氏は近來少し健康を損じてゐるので保養の意味も兼ねて此の際兼任分の中島氏を鐵道部長に專任鐵道部長に人事をはとの意見も行はれ殆ど決し兼ねたから見た處、渡部氏は「自分は小官は「しない」と言ふ事情の變遷を大人事部長の中島氏の三人が「自分は小官は「しない」と言ふ事情の變遷を大人事部長の中島氏の三人が現職の眞鍋の慶來によつて彩を出した專任鐵道部の新設は去る二十八日公布された官制によつて中島氏が一年先輩であり身分の渡部氏がはち切れさうな元氣なのに比し中島氏は近來少し健康を損じてゐるので保養の意味も兼ねて此の際兼任分の中島氏を鐵道部長に專任鐵道部長に人事をはとの意見も行はれ殆ど決し兼ねたから見た處、渡部氏は「自分は小官は「しない」と言ふ事情の變遷を大人事部長の中島氏の三人が

大學の卒業年次から見ても三等官の渡部氏が一年先輩であり身分の渡部氏がはち切れさうな元氣なのに比し中島氏は近來少し健康を損じてゐるので保養の意味も兼ねて此の際兼任分の中島氏を鐵道部長に專任鐵道部長に人事をはとの意見も行はれ殆ど決し兼ねたから見た處、渡部氏は「自分は小官は「しない」と言ふ事情の變遷を大人事部長の中島氏の三人が

人事を一言以て掩へば大道無門式人事とも云ふべく、この意味から鐵道長と新部長との關係さうされたコンビの下に於ける新部長の經綸の手腕が期待される、又今回の新部長の人事は鐵道部長の更迭及その他の任免に伴ふ

臺灣日日新報 第一万三千七百二十二號

貿易の指針

日本全版圖の貿易統計を一元化

臺灣の統計陣容整備に就て

督府稅務課發表

昭和十二年上半期の我國對外貿易は実に大飛躍の直後たる大正十二年に匹敵する大躍を示現した此の事実は勿論政府當局並に一般財界人の頭腦に大なる衝撃を與へたる事は否定し得ないが、時期が過期的入超期たり一面他面財政經濟上原則の一たる生産力の擴充政策に與する機械其の他の材料の入增に基くもので出超期たる下半期の輸出關連を暗示するものとして自ら察のて已を処、下半期に入るや期待した輸出は米国の不況を最大原因として一向伸張しなかつた為やむなく貿易尻の改善は輸入の抑壓に依つての外なしとの要に傾き而も支那事変の勃發で外国に依存すべき重要資源の輸入だけは確保する必要から不急不要品を挙げて極度に輸入制限が加へられることなり其の結果は輸出入貿易とも退勢の趨勢に轉じてしまつた。其上貿易尻の改善は期待すべくもなき非勢を示した為本年に入り依然從來の消費的對策を一擲し必要に應じては輸入も大に之を助長し就中、輸出貿易振興の積極的對策を樹立せざるべからずとの全く反對の輿論が第七十三回議會特に衆議院に於て有力に論議され、而して、之が對策として最も緊要にして且つ直接效果的なる措置としては先づ貿易統計の整備改善と必要とし急速大綱案を初め調査、台灣に於ても進捗後を以て之が經費を要求し内、外地ともその發表が議會の議決を經る所となつた即ち台灣に於ては統計に関し四人、屋一人、本府に関し一人、屋一人の增員を認められ如上の趣旨に鑑み、台灣に於ても進捗後を以て之が經費を要求し内、外地ともその發表が議會の議決を經る所となつた即ち台灣に於ては統計に関し四人、屋一人、本府に関し一人、屋一人の增員を認められ如上の趣旨に鑑み、本年度の國、台灣、朝鮮、滿洲、關東州、南洋、支那、内地の貿易統計を一元化し、其の他の諸國の分は之を殿上する（本統計は從來貿易のみを殿上する特殊統計）前項滿、鮮、支、南洋の通過地別統計に付ては別項輸出入品目の整備を次ぐて二段之の細目にして一般の關係に便する第六　國別別輸出入貿易總額表

統計の新設

從來の貿易關係國別統計の外に別に外國郵船船舶に付國別別總額表を作成する

第七　内閣貿易統計の整備

一、大藏省「貿易月表」掲載の品目（細分のものを除く）と一致せしめる

二、細分品目に付ては其の主要なるもののみを掲載する

三、臺灣現行品目は原則として全部存置するが外其他に關するものの中より相當細分掲載する

第二　輸入統計品目の整備

一、大藏省現行品目と同樣關係定率法別表稅率表號適用別、同法條約等の適用別と殿上度に之を公表に必要なる品目に細分する

二、現在一般輸入品目は別國に一括統計する小包郵便物と主要なるもの十數品を殿上其他は之を一括し、之所、關稅統計する

三、大藏省「貿易月表」掲載の品目（細分のものを除く）に一致せしめる

第三　輸入公表品目の整備

一、大藏省「貿易月表」掲載の品目（細分のものを除く）に一致せしめる

二、現在一般輸入品目は別國に一括統計する小包郵便物と主要なるもの十數品を殿上其他は之を一括し、之所、關稅統計する

三、臺灣現行品目は原則として全部存置するが外其他に關するものの中より相當細分掲載する

第四　國別統計の整備

一、輸入公表品目の整備

二、大藏省「貿易月表」掲載の品目（細分のものを除く）に一致せしめる

三、臺灣現行品目は原則として全部存置するが外其他に關するものの中より相當細分掲載する

第五　通過地別輸出入統計の改設

一、本統計は本島と最も密接なる關係を有する滿、鮮、支、南洋の分にのみ之を殿上する（本統計は從來貿易のみを殿上する特殊統計）前項滿、鮮、支、南洋の通過地別統計に付ては別項輸出入品目の整備を次ぐて二段之の細目にして一般の關係に便する

第六　國別別輸出入貿易總額表

從來の貿易關係國別統計の外に別に外國郵船船舶に付國別別總額表を作成する

第七　内閣貿易統計の整備

一、本統計は本島と最も密接なる關係を有する滿、鮮、支、南洋の分にのみ之を殿上する（本統計は從來貿易のみを殿上する特殊統計）前項滿、鮮、支、南洋の通過地別統計に付ては別項輸出入品目の整備を次ぐて二段之の細目にして一般の關係に便する

第六　國別別輸出入貿易總額表

從來の貿易關係國別統計の外に別に外國郵船船舶に付國別別總額表を作成する

第七　内閣貿易統計の整備

一、現在の貿易月表は輸移出入品等に於て當月分及當月迄の累計のみを掲載するもの之を現行、大藏省月表と同樣統計は二ヶ年分を連記する

二、從來輸入品等の末尾に別記せる「小包郵便物」及「旅客携帯品」は總て一般輸入品等中の該當品目中に合併計上し物資の適應なる輸入を表示する

第九　刊行物の早期刊行と之に關する措置

統計刊行物の早期刊行と之に關する措置

一、輸出入統計は時期的に遅延、物資動員計畫、物資動員其他輸出入貿易關係其他輸出入貿易關係者の資料として重要性を加へ來りたるが實際の必要に迫られるを以て先づその材料たる關稅關係官廳の調査、整理を分擔する殖産局、總督府、專賣局、稅關、商工會議所、商會、其他關係官廳の調査を能率的に整理せしめ、其の材料の適化を期する尚、本高等官の衝に對しては各關係官廳に依り可及的適當を提供せられ正確なる統計の作成に協力せられん事を切望して已まぬ

第八　貿易月表の整備

一、現在の貿易月表は輸移出入品等に於て當月分及當月迄の累計のみを掲載するもの之を現行、大藏省月表と同樣統計は二ヶ年分を連記する

二、從來輸入品等の末尾に別記せる「小包郵便物」及「旅客携帯品」は總て一般輸入品等中の該當品目中に合併計上し物資の適應なる輸入を表示する

第九　刊行物の早期刊行と之に關する措置

統計刊行物の早期刊行と之に關する措置

臺灣に於ける資金調整法の實績

總督府財務局調査

台灣總督府に於ては中央政府と協議し、昨年十月十五日より臨時資金調整法を台灣にも実施、今日に至つてゐるが、財務局金融課調査による施行以來本年二月末日までの事業、個資金の調整條件別貸付状況其他の成績は次の如くである

一、事業資個資金の調整條件別貸付状況

（イ）昭和十二年自一月至三月

（單位千円）

貸付別	銀行	乙種	丙種	合計	百分比
産業別					
醸造業					
工業					
農林業					
商業					
運輸業					
其他の事業及施設					
合計					

（ロ）自昭和十二年三月十六日至同年四月十五日

貸付別	銀行	乙種	丙種	合計	百分比
産業別					
醸造業					
工業					
農林業					
商業					
運輸業					
其他の事業及施設					
合計					

二、産業別個資金の調整條件別貸付状況

（イ）昭和十二年自一月至三月

（單位千円）

産業別	銀行	乙種	丙種	合計	百分比
醸造業					
工業					
農林業					
商業					
運輸業					
其他の事業及施設					
合計					

（ロ）自昭和十二年三月十六日至同年四月十五日

産業別	銀行	乙種	丙種	合計	百分比
醸造業					
工業					
農林業					
商業					
運輸業					
其他の事業及施設					
合計					

三、調整法第二條に基く貸付許可及貸付不許可件數（單位千円）

許可	件數	金額
昭和十二年自一月至三月		
昭和十二年自三月十六日至同年四月十五日		
基礎		
合計		

不許可	件數	金額
昭和十二年自一月至三月		
昭和十二年自三月十六日至同年四月十五日		
基礎		
合計		

四、調整法第四條に基く中請事項及許可件數及金額

（イ）許可又は許可せる件數及金額（單位千円）

事項	件數	金額
醸造業		
工業		
農林業		
商業		
運輸業		
其他の事業及施設		
合計		

（ロ）許可又は許可せる件數及金額（單位千円）

事項	件數	金額
醸造業		
工業		
農林業		
商業		
運輸業		
其他の事業及施設		
合計		

（）は内訳可

需給窮屈に砂糖は躍進

島内は内地高に添はず

砂糖は需給の減産と貿易統制に依る輸出向原料の輸入難から需給緩和の動機が著しく緩和となり、殊に國内消費が來年以降の第二次の一方貿易の輸出況に関連期の何れも必要とのつて來た。大阪現物は四月末以上比し次の如く分類は二十七錢方、期限は二十七錢方、期限は五十五錢方

品名	單位	稅率
七三三〇	百瓩	〇・九五
七三三〇	百瓩	一二三〇
八一ガン一一	百瓩	一二三〇
八一ガン一一	百瓩	一二三〇
三六〇	從價	一〇〇パーセント
八〇六	從價	一〇〇パーセント
三六一	從價	一〇〇パーセント
三六一	從價	一〇〇パーセント
三六二	從價	一〇〇パーセント
三六四	從價	一〇〇パーセント
三六五	從價	一〇〇パーセント
三六六	從價	一〇〇パーセント
三六七	從價	一〇〇パーセント
三六八	從價	一〇〇パーセント
三六九	從價	一〇〇パーセント
三六九	從價	一〇〇パーセント
三六九

連載滿話實と說小

めくづ白面
めくづ作傑

夏の増刊

婦人倶樂部

婦人も大喜び！男子も大喜び！家中で樂しめる大増刊！！

面白く日本一面白い日本一讀應へのする特別増刊！！

青春秘話 戀愛休戦（菊池寛）

召集令！男の友情！愛を爭ふ二青年 讓るは誰ぞ！感激の大傑作

樹情理想的の二青年から同時に求婚された禮子の惱み、親友同志の二青年の惱み、文豪の筆鋒何う解決したか？躍動する青春讀物

戀と夕顔の門（吉川英治）

戀は悲し！土道は重し！運命の子に涙流る！

十九のお市に魔がさした、戀は曲者命とり、武士の妻ゆゑ、この大悲劇、文豪快心の大傑作

戀と涙の悲劇家實話集

東近天下の話題となり萬人の涙を絞らせた悲劇事件の眞相、運命の教育實に賞くべき實話の大特輯！

▲日本殺し後日物語 罪業消滅を祈る姉弟 花村哲夫

▲當代一の才ペラの女王 澤モリノ 流浪哀史 佐山英太郎

▲社會の罪か人の罪か 法廷に泣く運命の女 楠瀬正澄

▲北川教授と喫茶女給 樹海に眠る花嫁 清閑寺健

讀切篇長

▲愛の勝利 香氣ある貞 丹羽文雄

▲裸の快俠 聖天の花五郎 長谷川伸

▲謎の手紙 母と母 廣津和郎

▲美男美女 月夜の物語 尾崎士郎

傑作集

▲人間哀史 櫻島 金子洋文

▲惡魔の囁き 妻の危機 通り雨 矢田津世子

▲辨天小僧 しぐれ曼陀羅 子母澤寛

▲恋の制裁 青春の哀傷 中村武羅夫

▲天才畸人 宵待草 武田麟太郎

戰線慰問みやげ話

名場面繪巻

優麗目を奪う極彩色 名畫と實演寫眞

今度の増刊は特別奉仕の大増刊で沸き返る大評判！！

慰問品には是が一番喜ばれます。送料僅か五錢―安んに御利用下さい。

口繪特輯

▲川柳滿風景
▲結婚記念寫眞集
▲名優當り藝面報

流轉運命 江戸亡ぶ日 海野澤龍
感涙求愛 玩具の寫眞機 金子洋文
探偵怪奇 熱の罪 甲賀三郎
喋笑快笑 蛾の犯罪 陸奥城川
人情講談 白の花嫁 弘木丘太
山窓奇談 恋に還る隊 野村胡堂
股旅道中 麥の擊 岩崎榮
戰線秘話 蟬の花 春風亭柳枝
大笑落語 みの犯罪 長谷川一夫 入江たか子演
映画物語 日の罪 陸直次郎
離れ貧乏 山の機 士師清二
傑作落語 恋の 鶴家金穫
赤ちゃん 蹴 歌者 濱本浩
縁の偶 十歳 義 池田宣政
奇の 夫婦 丸の恋 萬 合 一 の 使 の 籃 の 搖光 母の悲劇
藤十郎 の 丸 の 合 一 の 使 の 籃 の 搖光 愛は輝く
みの 蹴 婦 の 丸 の 合 一 の 使 の 籃 の 搖光 愛は輝く
日の 山 恋 白 情 玩 江戸亡ぶ日 海野澤龍
山窓 恋 白 情 玩 江戸亡ぶ日 海野澤龍
股旅 麥 蟬 熱 具 寫 機 金子洋文
戰線 蟬 熱 具 寫 機 甲賀三郎
秘話 の 熱 の 寫 機 陸奥城川
大笑 の 熱 の 寫 機 弘木丘太
落語 の 熱 の 寫 機 野村胡堂
映画 の 熱 の 寫 機 岩崎榮
物語 の 熱 の 寫 機 春風亭柳枝
離れ 熱 の 寫 機 長谷川一夫 入江たか子演
貧乏 の 熱 の 寫 機 陸直次郎
山窓 の 熱 の 寫 機 士師清二
奇談 の 熱 の 寫 機 鶴家金穫
恋の 熱 の 寫 機 濱本浩
制裁 の 熱 の 寫 機 池田宣政
青春 の 熱 の 寫 機 萬
哀傷 の 熱 の 寫 機 合
中村武羅夫 の 熱 の 寫 機 一
天才畸人 の 熱 の 寫 機 義
宵待草 の 熱 の 寫 機 恋
武田麟太郎 の 熱 の 寫 機 や
の 熱 の 寫 機 連
の 熱 の 寫 機 る
の 熱 の 寫 機 隊
の 熱 の 寫 機 嫁
の 熱 の 寫 機 罪
の 熱 の 寫 機 機
の 熱 の 寫 機 日
の 熱 の 寫 機 海野澤龍
の 熱 の 寫 機 金子洋文
の 熱 の 寫 機 甲賀三郎
の 熱 の 寫 機 陸奥城川
の 熱 の 寫 機 弘木丘太
の 熱 の 寫 機 野村胡堂
の 熱 の 寫 機 岩崎榮
の 熱 の 寫 機 春風亭柳枝
の 熱 の 寫 機 長谷川一夫 入江たか子演
の 熱 の 寫 機 陸直次郎
の 熱 の 寫 機 士師清二
の 熱 の 寫 機 鶴家金穫
の 熱 の 寫 機 濱本浩
の 熱 の 寫 機 池田宣政
の 熱 の 寫 機 萬
の 熱 の 寫 機 合
の 熱 の 寫 機 一
の 熱 の 寫 機 義
の 熱 の 寫 機 恋